



試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成30年6月11日

受付日：平成30年4月12日
受付番号：HP18-KT040

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 柳澤 恒雄

1. 接合金物名称	JWウイングホールダウン50
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	たて枠端部接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「JWウイングホールダウン50」 材 質：SPHC*1 寸 法：45mm×50mm×640mm(外形) 板厚t=4.5mm ボルト受け部板厚t=6mm 接合具用孔 20-φ6.4mm 表面処理：デュラルコート*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>「鍋頭ねじ(ドリル先) φ6.0×120」 20本 材 質：以下の化学成分を満足する冷間圧造用炭素鋼 C(0.15~0.20%),Si(0.10%以下),Mn(0.60~0.90%), P(0.030%以下),S(0.035%以下),Al(0.02%以上) 寸 法：頭部径φ9.85mm 胴部径φ5.9mm ねじ山径φ6.25mm ねじ谷径φ4.45mm ねじピッチ2.82mm L=120mm(ねじ部長さ75mm) 表面処理：デュラルコート*2</p> <p>「専用角座金」 1個 材 質：SPHC*1 寸 法：35mm×35mm 板厚t=9mm 孔径φ17mm 表面処理：デュラルコート*2</p> <p>「全ねじボルトM16」 1本 材 質：SNB7*3</p> <p>「六角ナットM16」 1個 材 質：SCM435*4</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>たて枠材：38mm×89mm×1,300mm スギ 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 3本 含水率：8.5~12.0% 全乾密度：0.37~0.42g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>たて枠同士の接合：太め鉄丸くぎCN-90 18本(片面9本)打ち @150以下 千鳥</p> <p>*1 引張強さ270N/mm²以上の鋼板 *2 JIS H 8610及びJIS H 8625 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM 2 C以上の防錆処理 *3 JIS G 4053 機械構造用合金鋼鋼材 *4 JIS G 4107 高温用合金鋼ボルト材</p>
6. 試験条件等	試験体は、全ねじボルトM16及び六角ナットM16を用いて、鉄骨架台に手締めにて固定した。 また、たて枠の偏心防止のためサポート治具を設けた。
7. 試験結果	基準許容応力 41.62 kN、基準終局耐力 93.55 kN、短期許容耐力 62.43 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成30年4月24日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。